



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.2)

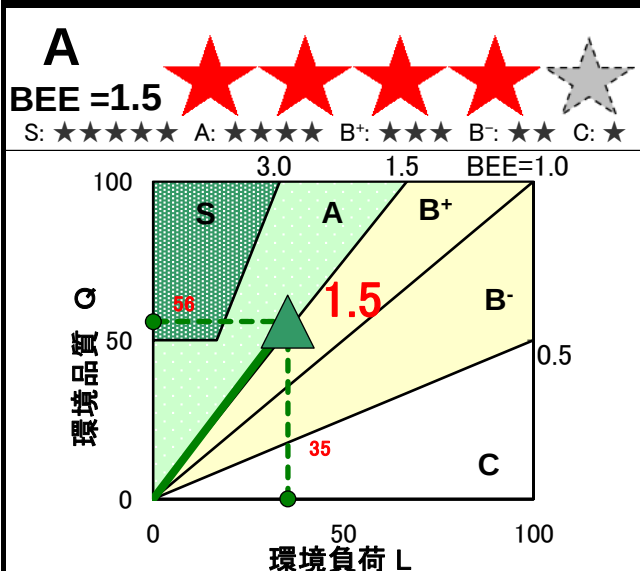
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)本町西PJ 新築工事		
建設地	西区阿波座1丁目		
建築用途	事務所、自動車車庫		
建築主	野村不動産(株)		
設計者	(株)銭高組		
敷地面積	357.14	m ²	
建築面積	263.57	m ²	
延床面積	3,237.60	m ²	
構造/階数	S造	/	地上13階
完了年(予定)	2022年3月		

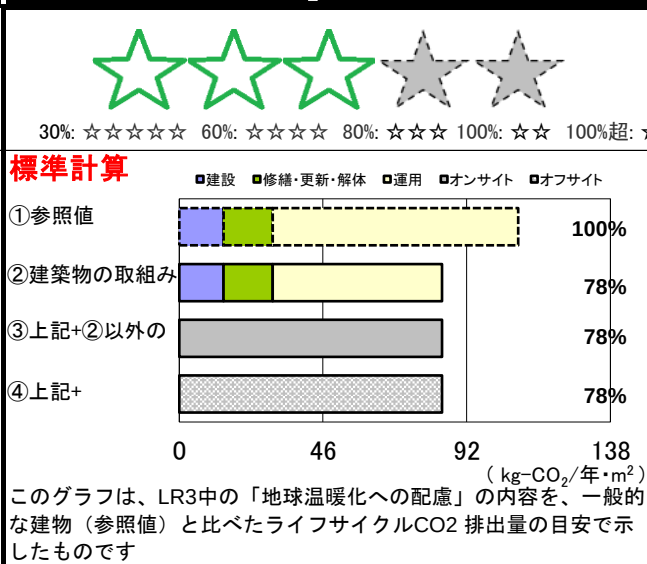
1-2 外観



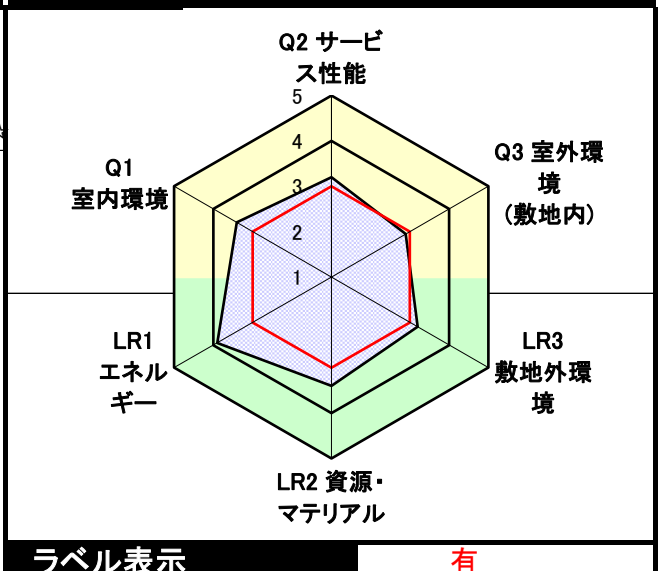
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



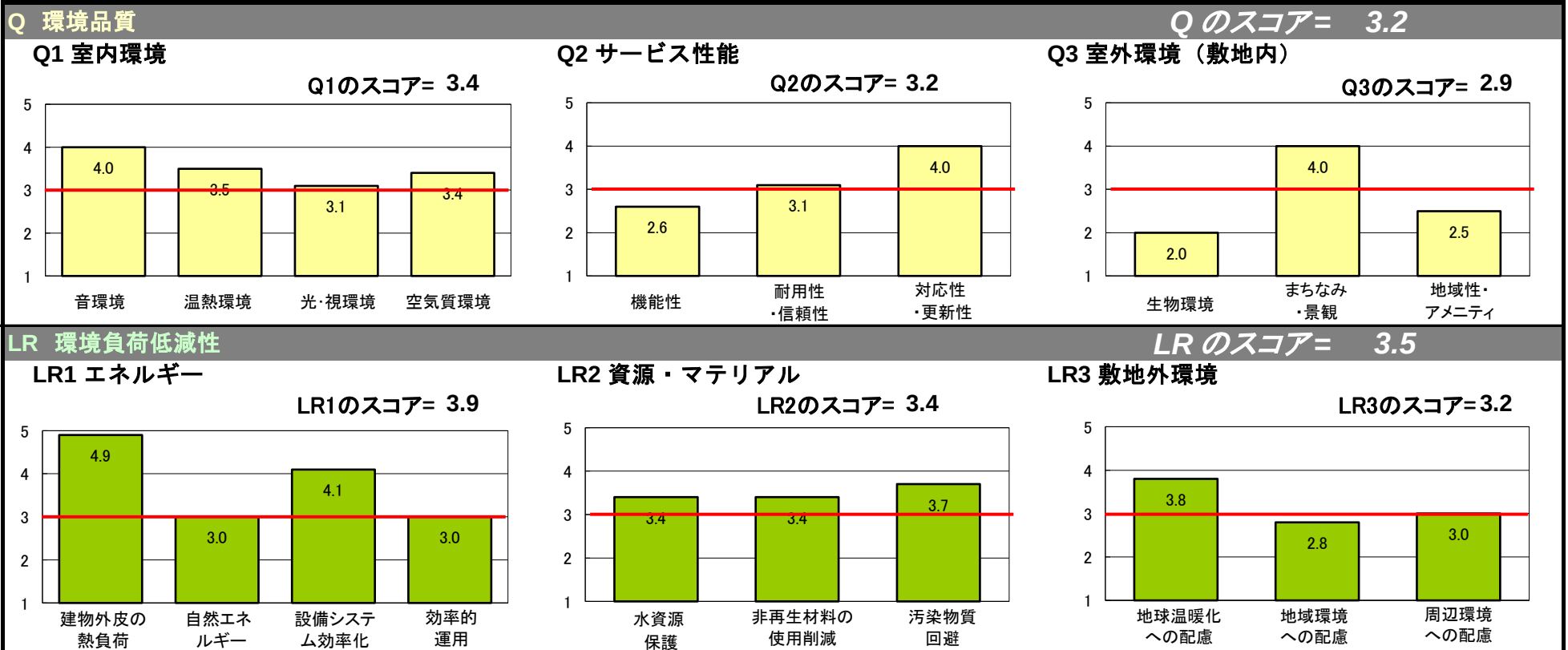
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 大阪市西区に建設されるオフィスビルの計画である。 高効率な設備機器の導入により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		その他 特になし。
Q1 室内環境 F☆☆☆☆の建築材料を採用し空気質環境の向上に配慮している。	Q2 サービス性能 階高にゆとりを持たせることで、天井高さを確保し使用者の快適性を向上させるとともに、更新時の変化にも対応が可能。	Q3 室外環境 (敷地内) 外観パースを多数作成し、周辺環境との調和の確認をしている。
LR1 エネルギー LEDなど高効率の機器を採用することで、BEI値の低下に貢献している。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用により、水資源保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.8
配慮事項	LCCO2排出率：78%程度としている。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	特になし。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.9
配慮事項	Low-eガラスを使用し断熱性能を高めている。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.1
配慮事項	LEDなど高効率の機器を採用することで、BEIm値の低下に貢献している。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]
	- (相当)	0.81
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]
	0.69	-
		非住宅部分[BEI][BEI _m]
		0.69

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討	
① 周辺環境の把握	
② 日照条件の検討	
ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ ） m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり 方位 （ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位 （ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位 （ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位 （ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位 （ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分
③ 日照条件に適合する場所の検討	
ア 設置可能面積等	（ 0.0 ） m ² 方位（ ） 設置角度（ ） 度
イ 設置可能太陽光パネル面積	（ ） m ²
ウ 設置可能容量	（ ） kW
エ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
オ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）
④ 導入判断	
検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 ☒ 導入しない	
導入を見送る理由（複数選択可） ☐ 日照が確保できない ☐ 躯体が荷重に対応できていない ☒ 敷地内に設置する場所を確保できない ☐ 費用負担が大きい ☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする ☐ その他 （ ）	
2 導入する設備の概要	
ア 太陽光パネル面積	（ ） m ²
イ 発電容量	（ ） kW
備考	
注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。	

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ ） m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）																				
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1"> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> </table>	方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m
方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m																		
方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m																		
方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m																		
方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m																		
方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m																		
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分																				

③ 熱需要の条件等の検討

ア 建築物の用途	事務所
イ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☒ 給湯 ☐ その他（ ）
ウ 設置可能面積	（ 0.0 ） m ²
エ 概算年間熱利用量	（ ） MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
カ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 年間を通じて安定した熱需要がない
☐ 躯体が荷重に対応できていない
☒ 敷地内に設置する場所を確保できない
☐ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他（ ）

2 導入する設備の概要

ア 集熱パネル面積	（ ） m ²
イ 概算年間熱利用量	（ ） MJ/年
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他（ ）

備考